



【年表】

50年のあゆみ

昭和48年度 ～令和5年度
(1973.4～2024.3)

昭和48>57年度 1973.4~1983.3

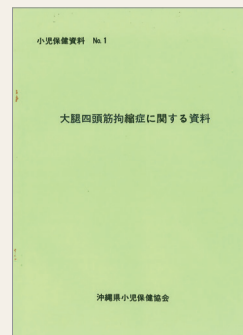
沖縄県小児保健協会は、小児保健活動をととして、沖縄のこどもの心身の健全育成に寄与することを目的に、1973(昭和48)年に任意団体として発足し、1981(昭和56)年に法人格を取得した。



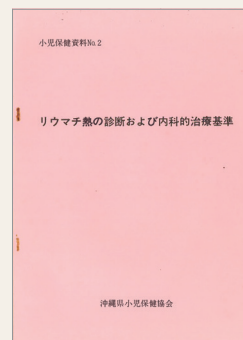
沖縄県厚生部予防課内に設置 (1973)



「沖縄の小児保健」創刊号 (1974)



大腿四頭筋拘縮症に関する資料 (1974)



リウマチ熱の診断および内科的治療基準の資料 (1975)



小児保健協会のシンボルマーク (1974)

沖縄県小児保健協会シンボルマーク・デザイン説明

「健全なる社会の発展は、健全なる小児の育成になければならない」という協会設立の趣旨に沿ってマーク・デザインをした。

- まず、小児の「小」を白い鳩におきかえ出来るだけ単純化して、健全なる小児を象徴的に表現した。
- 外輪は沖縄の「O」であり、また協会の「和」である。
- 地色は、協会の発展を願う意味で、若夏の明るい緑色を使用した。

琉球大学名誉教授 安次富長昭

昭和48年度 (1973.4~1974.3)

- 7.28 沖縄県小児保健協会設立総会。沖縄県環境保健部予防課内に事務局設置(那覇市泉崎1-2-32)
- 5.3 復帰記念沖縄特別国民体育大会(若夏国体)開幕
10. 沖縄県と乳児一般健康診査の受託契約の締結
11. 沖縄県にて初めての乳児一般健康診査を実施(東風平村 現:八重瀬町)
3. 「沖縄の小児保健」創刊号発行
3. 協会のシンボルマーク制定
(琉球大学名誉教授の安次富長昭先生デザイン)

公費による乳児妊婦一般健康診査開始

乳幼児健診の公費負担制度、妊婦乳児健診の所得制限を撤廃

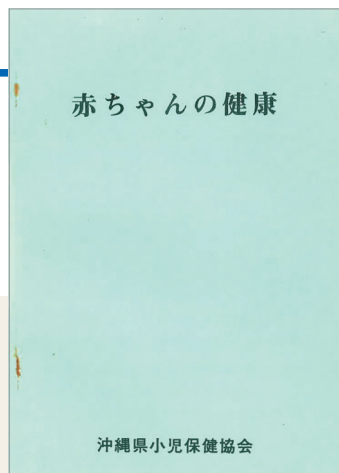
昭和49年度 (1974.4~1975.3)

11. 「大腿四頭筋拘縮症に関する資料」を印刷

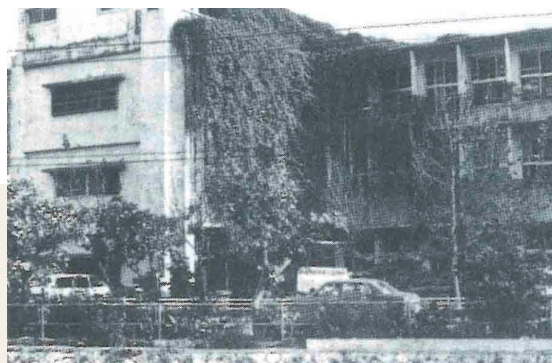
昭和50年度 (1975.4~1976.3)

4. 「リウマチ熱の診断および内科的治療基準」を印刷
7. 風疹が流行
3. 「赤ちゃんの健康」を発行(沖縄タイムスの夕刊に掲載した内容を集録)

※ 緑文字は社会の動き



「赤ちゃんの健康」を発行(1976)



旧沖縄県公害衛生研究所内に事務所を移転(1981)



第29回日本小児保健学会の開催

- 会場:那覇市民会館大ホール(他5会場)
- 会頭:知念正雄
- 一般演題:274題、会頭講演、特別講演2題、シンポジウム2題
- 参加者:1,663名



「乳児健診で丈夫な子に」のポスターを作成(1982)

昭和52年度(1977.4~1978.3)

- | 1歳6か月児健康診査開始(国)

昭和53年度(1978.4~1979.3)

- | 1歳6か月児健康診査開始(沖縄県)

昭和55年度(1980.4~1981.3)

- 1.17 | 沖縄県小児保健協会(任意団体)を解散。社団法人沖縄県小児保健協会設立。総会を開催

昭和56年度(1981.4~1982.3)

- 12. | 沖縄県小児保健協会の事務所を移転。旧沖縄県公害衛生研究所内(那覇市久茂地1-2-1)

昭和57年度(1982.4~1983.3)

- 9.30~10.1 | 第29回日本小児保健学会の開催
「乳児健診で丈夫な子に」のポスターを作成

昭和58 > 平成4 年度 1983.4~1993.3

1983(昭和58)年に沖縄小児保健協会は10周年を迎えた。1992(平成4)年には、市町村向けに「母子健康手帳(現 親子健康手帳)」の作成及び頒布を始めた。



創立10周年記念式典における感謝状の贈呈(1983)



移転先の県薬務課薬品倉庫(1988)



創立10周年記念誌の表紙(1983)



「子どもの健康」の初版(1986)



宮古・八重山の子どもたちの表紙(1988)



エリエール像(1990)

昭和58年度 (1983.4~1984.3)

- 7.30 創立10周年記念式典を開催
 - 会 場：自治会館大ホール
 - 表彰式：会長感謝(7名)、会長表彰(5名)
- 11. 住居表示変更のため事務所の住所を変更(那覇市久茂地1-2-1から那覇市久茂地1-1-16)

昭和60年度 (1985.4~1986.3)

- 3. 「子どもの健康」初版を発行

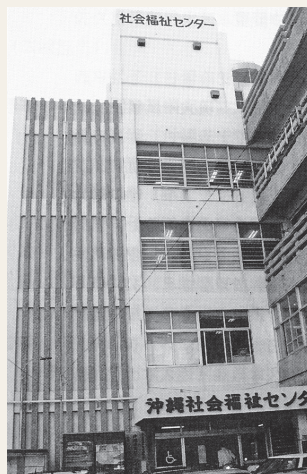
昭和63年度 (1988.4~1989.3)

- 5. 「宮古・八重山の子どもたち ~先島母子一斉健診15年を迎えて~」を発行
- 5. 沖縄県小児保健協会事務所を沖縄県環境保健部薬務課薬品倉庫(那覇市旭町9)に移転

平成元年度 (1989.4~1990.3)

- 3.19 第2回エリエール奨励賞受賞(日本児童家庭文化協会より)

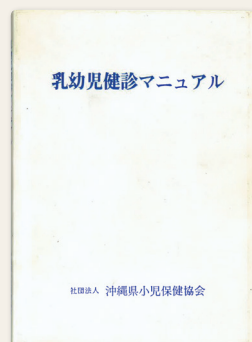
※ 緑文字は社会の動き



社会福祉センター(1990)



「からだと心の周辺～明日を拓く子どもフォーラム～」の表紙(1992)



「乳幼児健診マニュアル」の初版(1992)



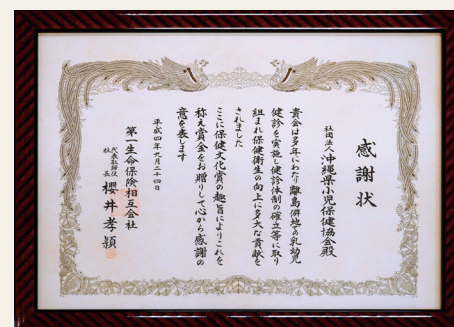
平成4年発行母子健康手帳(1992)



保健文化賞贈呈式(1992)



保健文化賞の盾(1992)



保健文化賞で受け取った感謝状(1992)

平成2年度(1990.4～1991.3)

4. 沖縄県小児保健協会事務所移転、沖縄県社会福祉センター4階(那覇市旭町35)
3歳児健康診査に視覚・聴覚検査導入(国)

平成3年度(1991.4～1992.3)

- 3歳児健康診査に視覚・聴覚検査導入(沖縄県)
2. 「からだと心の周辺～明日を拓く子どもフォーラム～」を発行
3. 「乳幼児健診マニュアル」初版を発行
3. 市町村向けに「母子健康手帳(後の親子健康手帳)」の作成及び頒布を始める

平成4年度(1992.4～1993.3)

- 5.15 本土復帰20周年(沖縄県)
- 9.24 第44回保健文化賞を受賞(第一生命保険相互会社より)

平成5>14年度 1993.4~2003.3

1993(平成5)年に創立20周年記念事業として式典を開催。記念誌も発行した。

2001(平成13年)には、はしか“0”プロジェクト委員会を発足し、はしか撲滅に力を入れた。



作品を選定中(1993)



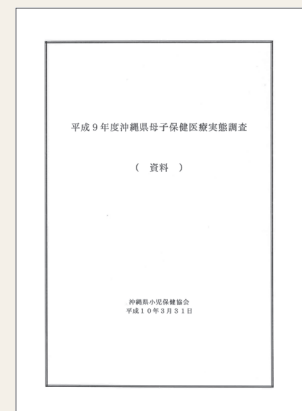
図画・作文コンクールの表彰式(1993)



沖縄県小児保健協会「20周年記念誌」の表紙(1993)



平成9年度沖縄県母子保健医療実態調査の報告書(1997)



平成9年度沖縄県母子保健医療実態調査の資料(1997)

平成5年度 (1993.4~1994.3)

- 5. 第44回保健文化賞を受賞した記念に「沖縄小児保健賞」を設置
平成5年の沖縄小児保健賞受賞団体は、沖縄小児発達センター
- 7.31 創立20周年記念事業
 - 「図画・作文コンクール」表彰式
 - ・図画の部／特賞4点、優秀賞20点、佳作48点、入選150点
 - ・作文の部／特賞4点、優秀賞12点、佳作21点、入選33点
 - 記念式典(会場／パシフィックホテル沖縄 万座の間)
 - ・表彰式 会長感謝3名、会長特別表彰3名、会長表彰12名

平成6年度 (1994.4~1995.3)

- 1.17 阪神淡路大震災が発生(国)

平成9年度 (1997.4~1998.3)

- 4. 乳児一般健康診査・3歳児健康診査業について53市町村と受託契約を締結、1歳6か月児健康診査は離島地区・小規模町村と受託契約を締結
平成9年度沖縄県母子保健医療実態調査(報告書、資料)を発行
- 4.1 消費税を3%から5%に引き上げ(国)
乳児一般・3歳児健康診査業が県から市町村へ移譲される(沖縄県)

※ 緑文字は社会の動き



予防接種公開セミナー(2000)

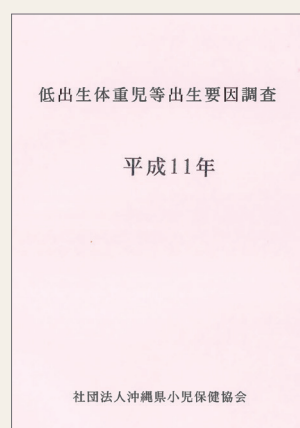


乳幼児健診マニュアル

= 第二版 =

社団法人 沖縄県小児保健協会

「乳幼児健診マニュアル」第2版
(2000)



低出生体重児等出生要因調査
の報告書(2000)



沖縄県のはしか撲滅について稲嶺知事に要請(2001)



沖縄県小児保健協会の事務所を東町会館8階
に移転(2003)

平成10年度(1998.4～1999.3)

1. 市町村母子保健担当者研修会の開催(平成9年度乳幼児健康診査実績報告会を兼ねる)
平成9年度乳幼児健康診査報告書を発行

平成11年度(1999.4～2000.3)

3. 「乳幼児健診マニュアル」の第2版を発行

平成12年度(2000.4～2001.3)

4. 予防接種公開セミナー「はしか"0"をめざして」を開催
● 共催／沖縄県小児科医会その他3団体
4. 低出生体重児等出生要因調査の報告書を作成
児童虐待防止法の制定(国)

平成13年度(2001.4～2002.3)

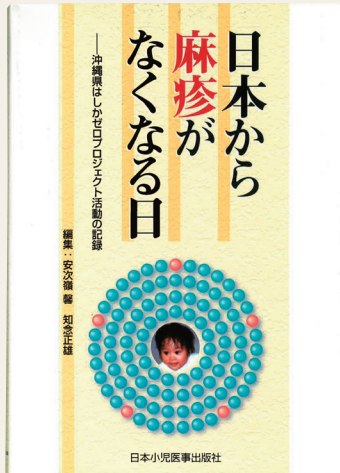
- 4.19 沖縄県はしか"0"プロジェクト委員会が発足し、その事務局を協会内に置いた
- 9.11 アメリカ同時多発テロ事件が発生(世界)
11. 沖縄県のはしか撲滅について稲嶺知事に要請

平成14年度(2002.4～2003.3)

- 5.15 本土復帰30周年(沖縄県)
6. はしか公開セミナーを開催
2. 沖縄県小児保健協会の事務所を東町会館8階(那覇市東町1-1)に移転

平成15>20年度 2003.4~2009.3

2007(平成19)年に小児保健センターの起工式が行われ、翌年完成。創立35周年記念と合わせて落成式典及び創立35周年記念式典、祝賀会を開催した。



「日本から麻疹がなくなる日」を発行(2005)



沖縄小児保健センター起工式(2007)



沖縄小児保健センターの外観(2008)

平成16年度 (2004.4~2005.3)

- | | |
|-------|----------------------------|
| 7 | 沖縄県母子保健推進員連絡協議会事務局の支援を開始する |
| 7.9 | 沖縄県母子保健推進員連絡協議会の発足(沖縄県) |
| 8.13 | 沖縄国際大学本館に米海兵隊のヘリが墜落炎上(沖縄県) |
| 10.23 | 新潟中越地震発生(国) |
| 12.10 | 発達障害者支援法の制定(国) |

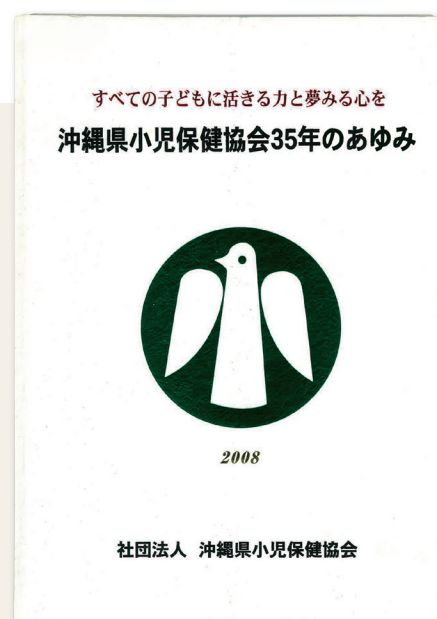
平成17年度 (2005.4~2006.3)

- | | |
|------|---|
| 6.23 | 沖縄戦終結60周年県主催の「沖縄全戦没者追悼式」が平和祈念公園で行われる(沖縄県) |
| 8. | 「日本から麻疹がなくなる日-沖縄県はしかゼロプロジェクト活動の記録-」を出版 編集:安次嶺馨、知念正雄 |
| 3. | 沖縄県小児保健協会のホームページを開設 |

※ 緑文字は社会の動き



創立35周年記念式典・祝賀会(2008)



沖縄県小児保健協会35周年の記念誌(2008)



沖縄小児保健センター落成式(2008)

平成19年度(2007.4~2008.3)

- 11.1 郵政民営化(国)
- 11. 沖縄県小児保健センター(仮称)の起工式を開催
- 12. 「おきなわ肺炎球菌疫学プロジェクト」の疫学調査(沖縄・北海道)の事務局を担い、「PneumoNetOkinawa研究会」を設立
- 3. 「沖縄小児保健センター」に名称決定

平成20年度(2008.4~2009.3)

- 4.1 公費による妊婦健康診査を2回から5回に拡充(市町村への地方交付税)(国)
- 12.1 沖縄県小児保健協会の事務所を移転。(那覇市東町1-1東町会館8階から南風原町字新川218-11へ)
- 12.21 落成式典及び創立35周年記念式典、祝賀会を開催

平成21年度 2009.4~2010.3

● 沖縄県小児保健協会の動き

2009年

4月 「母子保健手帳」から「親子健康手帳」へ名称変更

5月 平成21年度 沖縄県小児保健学会開催
会場／沖縄小児保健センター 3階ホール
内容／一般演題11題 特別講演1題
《特別講演》「沖縄のこどもたちの現状と課題」
加藤彰彦(沖縄大学人文学部こども文化学科)

5月 平成21年度「定期総会」の開催
・会員総数／315名(平成21年3月31日現在)
・議決権数／244名(出席者114名、委任状提出者130名)

5月 平成21年度「沖縄小児保健賞」表彰
《団体の部》
沖縄新生児看護研究会 代表世話人 宮城清美(沖縄県立南部医療センター・こども医療センターNICU看護師長)

7月 沖縄小児保健センターが特定非営利活動法人キッズデザイン協議会主催の「第3回キッズデザイン賞」を受賞

2010年

3月 機関誌「沖縄の小児保健第37号」の発行
「親子健康手帳」の作成及び頒布(平成22年度版)

● 社会の動き

- ・公費による妊婦健康診査を5回から14回に拡充(4.1)
- ・世界保健機関がパンデミック(世界的大流行)を宣言(6.11)



沖縄小児保健賞を受賞した沖縄新生児看護研究会



キッズデザイン賞を受賞

乳幼児健康診査受診状況(平成22年3月31日現在)

単位:人

健康診査名	受託受診数		情報処理件数		計	
	一般健診	歯科健診	一般健診	歯科健診	一般健診	歯科健診
乳児	29,188	—	—	—	29,188	—
1歳6か月児	4,604	4,586	8,908	8,884	13,512	13,470
3歳児	12,679	12,635	—	—	12,679	12,635

注) 対象外児を含む。

注) 乳児期の健康診査は前期・後期の2回受診することができる。

乳幼児健康診査受託市町村の状況

健康診査名	受託市町村数	情報処理市町村数	計(%)
乳児	41	—	41 (100.0)
1歳6か月児	28	12	40 (97.6)
3歳児	41	—	41 (100.0)

注) ()は県内41市町村に対する割合

平成22年度 2010.4~2011.3

● 沖縄県小児保健協会の動き

2010年

5月 平成22年度「沖縄県小児保健学会」の開催

会場／沖縄小児保健センター 3階ホール

内容／一般演題8題・特別研究報告1題・特別講演1題

《特別講演》「思春期の健康問題にどう取り組むか」

関口進一郎(慶應義塾大学医学部小児科学)

5月 平成22年度「定期総会」の開催

・会員総数／378名(平成22年3月31日現在)

・議決権数／190名(出席者85名、委任状提出者105名)

2011年

2月 24~27日

沖縄県福祉人材育成事業の受託事業

講師／平岩幹男(Rabbit Developmental Research)

・教育関係者向け講演「発達障害:学校を中心として」

・保健師向け講演「乳幼児健診と児童虐待」

・保育士向け講演「発達障害の理解と保育園での対応」

・小児科医・臨床心理士向け講演「発達障害in沖縄」

3月 「乳幼児健康診査マニュアル」の発行及び配布

3月 機関誌「沖縄の小児保健第38号」の発行

「親子健康手帳」の作成及び頒布(平成23年度版)

● 社会の動き

・「子ども手当」支給開始(4.1)

・東日本大震災発生(3.11)



保健師向け講演「乳幼児健診と児童虐待」



小児科医・臨床心理士向け講演「発達障害in沖縄」



乳幼児健康診査マニュアル

乳幼児健康診査受診状況(平成23年3月31日現在)

単位:人

健康診査名	受託受診数		情報処理件数		計	
	一般健診	歯科健診	一般健診	歯科健診	一般健診	歯科健診
乳児	29,663	—	—	—	29,663	—
1歳6か月児	4,814	4,802	8,992	7,497	13,806	12,299
3歳児	13,691	13,642	—	—	13,691	13,642

注) 対象外児を含む。

注) 乳児期の健康診査は前期・後期の2回受診することができる。

乳幼児健康診査受託市町村の状況

健康診査名	受託市町村数	情報処理市町村数	計(%)
乳児	41	—	41(100.0)
1歳6か月児	29	11	40(97.6)
3歳児	41	—	41(100.0)

注) ()は県内41市町村に対する割合

平成23年度 2011.4~2012.3

● 沖縄県小児保健協会の動き

2011年

5月 平成23年度「沖縄県小児保健学会」の開催

会場／沖縄小児保健センター 3階ホール

内容／一般演題9題・特別研究報告1題・特別講演1題

《特別講演》「伸びる子どもの睡眠学」

宮崎総一郎(滋賀医科大学睡眠学講座特任教授)



特別講演の「伸びる子どもの睡眠学」

5月 平成23年度「定期総会」の開催

・会員総数／335名(平成23年3月31日現在)

・議決権数／256名(出席者84名、委任状提出者172名)

2012年

2月 発達障害児に関する講演会

会場／沖縄小児保健センター 3階ホール

講師／星野仁彦(福島学院大学大学院福祉心理学部教授・学部長)

<第1部> 対象:保育士

講演:発達障害児の理解と対応

<第2部> 対象:保健師、心理士

講演:乳幼児健診での気になる児の保護者対応について

<第3部> 対象:医師

講演:乳幼児健診における気になる児の診方



発達障害児に関する講演会

3月 「小児救急医療適正受診啓発用ガイドブック」A4版作成し、関係機関へ配布

3月 公益社団法人移行に伴い、社団法人沖縄県小児保健協会を解散

3月 機関誌「沖縄の小児保健第39号」の発行 「親子健康手帳」の作成及び頒布(平成24年度版)



● 社会の動き

- ・サッカーの女子ワールドカップで「なでしこジャパン」が初優勝(7.17)
- ・テレビ放送が地上デジタルテレビ放送へ全面移行(7.24)

乳幼児健康診査受診状況(平成24年3月31日現在)

単位:人

健康診査名	受託受診数		情報処理件数		計	
	一般健診	歯科健診	一般健診	歯科健診	一般健診	歯科健診
乳児	30,117	—	—	—	30,117	—
1歳6か月児	6,177	6,155	7,929	6,461	14,106	12,616
3歳児	14,095	14,049	—	—	14,095	14,049

注) 対象外児を含む。

注) 乳児期の健康診査は前期・後期の2回受診することができる。

乳幼児健康診査受託市町村の状況

健康診査名	受託市町村数	情報処理市町村数	計(%)
乳児	41	—	41(100.0)
1歳6か月児	31	9	40(97.6)
3歳児	41	—	41(100.0)

注) ()は県内41市町村に対する割合

平成24年度 2012.4~2013.3

● 沖縄県小児保健協会の動き

2012年

4月 公益社団法人の登記

4月 公益社団法人沖縄県小児保健協会の会章の設定(公益移行記念)

6月 平成24年度「沖縄県小児保健学会」の開催

会場／沖縄小児保健センター 3階ホール

内容／一般演題9題

《特別講演》「発達障害の子どもを理解する」

小西行郎(同志社大学大学院心理学研究科赤ちゃん学研究中心教授)

6月 平成24年度「定期総会」の開催

・会員総数／316名(平成24年4月30日現在)

・議決権数／162名(出席者76名、委任状提出者86名)

10月 市民公開セミナー(こどもの健康週間)

会場／沖縄小児保健センター 3階ホール

講演／「ビタミンTの贈りもの タッチケア」

吉永 陽一郎(吉永小児科医院副院長)

・共催(公社)沖縄県小児保健協会、沖縄小児科学会、
沖縄県小児科医会

・後援(一般社)沖縄県医師会

2013年

3月 機関誌「沖縄の小児保健第40号」の発行

「親子健康手帳」の作成及び頒布(平成25年度版)

● 社会の動き

・ロンドン五輪開幕(7.27)

・オスプレイ反対県民大会、10万1千人集結(9.9)

沖縄県小児保健協会
の会章



特別講演を行った
小西行郎氏



「沖縄県小児保健学会」の特別講演



市民公開セミナー(こどもの健康週間)



乳幼児健康診査受診状況(平成25年3月31日現在)

単位:人

健康診査名	受託受診数		情報処理件数		計	
	一般健診	歯科健診	一般健診	歯科健診	一般健診	歯科健診
乳児	30,517	—	—	—	30,517	—
1歳6か月児	6,396	6,388	8,067	6,600	14,463	12,988
3歳児	14,239	14,182	—	—	14,239	14,182

注) 対象外児を含む。

注) 乳児期の健康診査は前期・後期の2回受診することができる。

乳幼児健康診査受託市町村の状況

健康診査名	受託市町村数	情報処理市町村数	計(%)
乳児	41	—	41(100.0)
1歳6か月児	31	9	40(97.6)
3歳児	41	—	41(100.0)

注) ()は県内41市町村に対する割合

平成25年度 2013.4~2014.3

● 沖縄県小児保健協会の動き

2013年

4月 自立支援医療(育成医療)の審査業務の受託を開始する(40市町村)

4月 創立40周年を記念し、沖縄小児保健協会「功労賞」を設置
(1)乳幼児健康診査功労賞 (2)功労賞

6月 平成25年度「沖縄県小児保健学会」の開催
会場／沖縄小児保健センター 3階ホール
内容／一般演題10題
《特別講演》「妊婦の精神面の問題の把握と育児支援
ー多職種によるチーム編成と役割分担ー」
吉田敦子(九州大学病院 子どものこころの診療部)

6月 平成25年度「定期総会」の開催
・会員総数／296名(平成25年4月30日現在)
・議決権数／177名(出席者88名、委任状提出者89名)

6月 平成25年度「沖縄小児保健賞」表彰
《個人の部》酒井洋 那覇市療育センター 理学療法士
《団体の部》
NPO法人 思春期青年期心理サポートセンター・ほのぼのすぺーす
代表 伊是名聡 臨床心理士

6月 平成25年度「乳幼児健康診査功労賞」表彰
受賞者3名(小児科医師) 安慶名昇、照屋武男、穴田紀夫

2014年

3月 機関誌「沖縄の小児保健第41号」の発行
「親子健康手帳」の作成及び頒布(平成26年度版)

● 社会の動き

- ・平成25年から自立支援医療(育成医療)の実施主体について都道府県から市町村に権限が移譲された(4-)
- ・2020年夏季オリンピック開催都市決定(9.7)



特別講演講師・
吉田敦子氏



小児保健賞・酒井洋氏



「乳幼児健康診査功労賞」を受賞した
照屋武男氏と安慶名昇氏

法人沖縄県小児保健協会



穴田紀夫氏

乳幼児健康診査受診状況(平成26年3月31日現在)

単位:人

健康診査名	受託受診数		情報処理件数		計	
	一般健診	歯科健診	一般健診	歯科健診	一般健診	歯科健診
乳児	30,599	—	—	—	30,599	—
1歳6か月児	6,694	6,678	8,047	6,575	14,741	13,253
3歳児	14,630	14,574	—	—	14,630	14,574

注) 対象外児を含む。

注) 乳児期の健康診査は前期・後期の2回受診することができる。

乳幼児健康診査受託市町村の状況

健康診査名	受託市町村数	情報処理市町村数	計(%)
乳児	41	—	41(100.0)
1歳6か月児	32	9	41(100.0)
3歳児	41	—	41(100.0)

注) ()は県内41市町村に対する割合

平成26年度 2014.4~2015.3

● 沖縄県小児保健協会の動き

2014年

6月 平成26年度「沖縄県小児保健学会」の開催

会場／沖縄小児保健センター 3階ホール

内容／一般演題2題・特別報告2題・特別講演1題

《特別講演》座長／玉那覇榮一（沖縄県小児保健協会会長）

「子育て支援の意義を確認する～児童虐待といやされない傷～」

友田明美（福井大学子どものこころの発達研究センター）



特別講演講師・友田明美氏

6月 平成26年度「定時総会」の開催

・会員総数／297名（平成26年4月30日現在）

・議決権数／194名（出席者64名、委任状提出者130名）

6月 総会にて名誉会長として承認される

知念正雄（第5代会長）、小渡有明（第6代会長）



名誉会長に承認された知念正雄氏と小渡有明氏

6月 平成26年度「乳幼児健康診査功労賞」表彰

受賞者10名（小児科医師）石川千恵、勝連啓介、喜久山千賀子、

崎原徹裕（歯科医師）佐久本恵子、志村圭子

（保健師）田名サヨ子、比嘉ミヨ子

（臨床検査技師）石川理江子、山川ちえ子

7月 子ども生活習慣対策委員会の全体会議を開催し、5つの小委員会（周産期、食育、運動・遊び、歯科、生活習慣）を設けて活動を開始する



子どもの生活習慣シンポジウムの様子

2015年

2月 「第1回子どもの生活習慣対策シンポジウム」の開催

会場／沖縄小児保健センター 3階ホール

メインテーマ／子どもの健康こそ長寿復活の鍵

3月 機関誌「沖縄の小児保健第42号」の発行

「親子健康手帳」の作成及び頒布（平成27年度版）



子どもの生活習慣シンポジウムの参加者が200名を超えた

乳幼児健康診査受診状況（平成27年3月31日現在）

単位：人

健康診査名	受託受診数		情報処理件数		計	
	一般健診	歯科健診	一般健診	歯科健診	一般健診	歯科健診
乳児	29,418	—	—	—	29,418	—
1歳6か月児	6,829	6,809	7,588	6,092	14,417	12,901
3歳児	14,426	14,377	—	—	14,426	14,377

注）対象外児を含む。

注）乳児期の健康診査は前期・後期の2回受診することができる。

乳幼児健康診査受託市町村の状況

健康診査名	受託市町村数	情報処理市町村数	計（％）
乳児	40	—	40（97.6）
1歳6か月児	32	7	39（95.1）
3歳児	40	—	40（97.6）

注）（ ）は県内41市町村に対する割合

平成27年度 2015.4~2016.3

● 沖縄県小児保健協会の動き

2015年

4月 健やか親子21(第2次)の指標に基づく乳幼児健康診査必須項目の入力業務を開始する

6月 平成27年度「沖縄県小児保健学会」の開催

会場／沖縄小児保健センター 3階ホール

内容／一般演題6題・特別報告1題・特別講演1題

《特別講演》「乳幼児健診の目指すもの～健やか親子21(第2次)の達成に向けて～」

山崎嘉久(あいち小児保健医療総合センター保健センター長)

6月 平成27年度「定期総会」の開催

・会員総数／272名(平成27年4月30日現在)

・議決権数／162名(出席者 79名、委任状提出者83名)

6月 総会にて名誉会員として承認される

仲里幸子、大宜見義夫、福盛久子、永吉盛元

6月 平成27年度「沖縄小児保健賞」表彰

《個人の部》福峯静香(NPO法人療育ファミリーサポートほほえみ)

6月 平成27年度「乳幼児健康診査功労賞」表彰

受賞者／12名 (小児科医師)小野寺隆、小坂真子、川満豊
(歯科医師)上江田武、中今恵子 (保健師)中澤祥子
(保健師)島袋春美 (臨床検査技師)當間元盛、金城浩吉
(看護師)金城よし子、仲宗根春子、天願利江

2016年

2月 第1回「子どもの生活習慣対策講演会」開催

《特別講演講師》原田哲夫(国立大学法人高知大学 教授)、
山城雄一郎(順天堂大学大学院)

3月 「乳幼児健康診査マニュアル(A4判)改訂版」の発行

3月 機関誌「沖縄の小児保健第43号」の発行
「親子健康手帳」の印刷及び頒布(平成28年度版)



「沖縄県小児保健賞」を受賞した福峯静香氏



名誉会員に承認された仲里幸子氏



「乳幼児健康診査功労賞」を受賞した金城浩吉氏



乳幼児健康診査マニュアル

乳幼児健康診査受診状況(平成28年3月31日現在)

単位：人

健康診査名	受託受診数		情報処理件数		計	
	一般健診	歯科健診	一般健診	歯科健診	一般健診	歯科健診
乳児	30,003	—	—	—	30,003	—
1歳6か月児	6,808	6,802	7,406	5,970	14,214	12,772
3歳児	14,379	14,350	—	—	14,379	14,350

注) 対象外児を含む。

注) 乳児期の健康診査は前期・後期の2回受診することができる。

乳幼児健康診査受託市町村の状況

健康診査名	受託市町村数	情報処理市町村数	計(%)
乳児	40	—	40(97.6)
1歳6か月児	32	7	39(95.1)
3歳児	40	—	40(97.6)

注) ()は県内41市町村に対する割合

平成28年度 2016.4~2017.3

● 沖縄県小児保健協会の動き

2016年

5月 「親子で歯っぴ〜プロジェクト-乳幼児版-」の受託が始まる
(県委託事業H28-R2)

6月 平成28年度「沖縄県小児保健学会」の開催

会場／沖縄小児保健センター 3階ホール

内容／一般演題5題・特別報告2題・特別講演1題

《特別講演》

「子どもの貧困にどう向き合うか 〜貧困の連鎖を断つために〜」
比嘉昌哉 (沖縄国際大学総合文化学部人間福祉学科 准教授)

6月 平成28年度「定時総会」の開催

・会員総数／241名(平成28年4月1日現在)

・議決権数／136名(出席者66名、委任状提出者70名)

6月 平成28年度「沖縄小児保健賞」表彰

《個人の部》 池原ひろみ(北大東村立歯科診療所 歯科衛生士)

6月 平成28年度「乳幼児健康診査功労賞」表彰

受賞者2名

(臨床検査技師) 宮里忠明、新垣都代子

7月 「おきなわ小児VPD研究委員会 第1回委員会」開催

9月 「倫理に関する研修会」開催

《講演》「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」
山縣然太郎(山梨大学大学院 総合研究部 医学域社会医学講座 教授)

11月 妊娠期からのつながるしくみ調査検討事業の実施
(県委託事業 H28-H30)

2017年

3月 「乳幼児健診特別研究委員会報告書」を発行

3月 機関誌「沖縄の小児保健第44号」の発行
「親子健康手帳」の作成及び頒布(平成29年度版)

歯っぴ〜マニュアル
(2016)



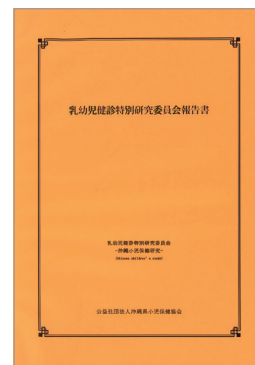
「沖縄県小児保健学会」で特別講演を行った比嘉昌哉氏



「沖縄小児保健賞」を受賞した池原ひろみ氏



「乳幼児健康診査功労賞」を受賞した宮里忠明氏



乳幼児健診特別研究委員会報告書
(2017)

乳幼児健康診査受診状況 (平成29年3月31日現在)

単位：人

健康診査名	受託受診数		情報処理件数		計	
	一般健診	歯科健診	一般健診	歯科健診	一般健診	歯科健診
乳児	30,247	—	—	—	30,247	—
1歳6か月児	8,424	8,396	6,002	5,968	14,426	14,364
3歳児	14,751	14,710	—	—	14,751	14,710

注) 対象外児を含む。

注) 乳児期の健康診査は前期・後期の2回受診することができる。

乳幼児健康診査受託市町村の状況

健康診査名	受託市町村数	情報処理市町村数	計(%)
乳児	40	—	40 (97.6)
1歳6か月児	33	6	39 (95.1)
3歳児	40	—	40 (97.6)

注) ()は県内41市町村に対する割合

平成29年度 2017.4~2018.3

● 沖縄県小児保健協会の動き

2017年

5月 「子どもの生活習慣に関する研修会」の開催

主催／沖縄県小児保健協会・子どもの生活習慣対策委員会
会場／沖縄小児保健センター 3階ホール
《講演》「朝ごはんから始まる元気な1日」

6月 平成29年度「沖縄県小児保健学会」の開催

内容／一般演題6題・特別報告2題・特別講演1題
《特別講演》「これからの小児医療と小児保健」
五十嵐隆(国立成育医療研究センター理事長)

6月 平成29年度「定期総会」の開催

- ・会員総数／272名(平成29年3月31日現在)
- ・議決権数／187名(出席者69名、委任状提出者118名)

6月 平成29年度「沖縄小児保健賞」表彰

《団体の部》 障がい児サポートハウス Ohana

6月 平成29年度「乳幼児健康診査功労賞」表彰

受賞者／5名(小児科医師)喜友名栄子
(臨床検査技師)玉城勝利(栄養士)石垣須磨子、国吉美佐江
(歯科衛生士)比嘉潤子

10月 家庭訪問支援員等児童相談業務担当者研修事業の実施 (県委託事業)

12月 発達障害児の支援に関する研修会

《講演》「発達障害児の理解と対応」
平岩幹男(公益社団法人日本小児保健協会副会長
Rabitt Developmental Research代表 小児科医)

2018年

3月 「子どもの生活習慣に関する研修会」の開催

主催／沖縄県小児保健協会・子どもの生活習慣対策委員会

3月 機関誌「沖縄の小児保健第45号」の発行

「親子健康手帳」を市町村へ頒布(平成30年度版)



子どもの生活習慣に関する研修会の様子



「沖縄小児保健賞」を受賞したOhana代表の名幸啓子氏

乳幼児健康診査功労賞表彰式の様子。
写真は喜友名栄子氏



乳幼児健康診査功労賞を受賞した玉城勝利氏を囲んで

乳幼児健康診査受診状況(平成30年3月31日現在)

単位：人

健康診査名	受託受診数		情報処理件数		計	
	一般健診	歯科健診	一般健診	歯科健診	一般健診	歯科健診
乳児	28,765	—	—	—	28,765	—
1歳6か月児	8,673	8,639	5,915	5,910	14,588	14,549
3歳児	14,402	14,368	—	—	14,402	14,368

注) 対象外児を含む。

注) 乳児期の健康診査は前期・後期の2回受診することができる。

乳幼児健康診査受託市町村の状況

健康診査名	受託市町村数	情報処理市町村数	計(%)
乳児	40	—	40(97.6)
1歳6か月児	33	6	39(95.1)
3歳児	40	—	40(97.6)

注) ()は県内41市町村に対する割合

平成30年度 2018.4~2019.3

● 沖縄県小児保健協会の動き

2018年

乳児健康診査における疫病スクリーニングに関する精度管理が始まる

6月 平成30年度「沖縄県小児保健学会」の開催

会場／沖縄小児保健センター 3階ホール

内容／一般演題6題・特別報告2題・特別講演1題

《特別講演》

「食物アレルギーの予防とアトピー性皮膚炎を寛解に導く対策」
大矢幸弘(国立成育医療研究センター・アレルギーセンター長・総合アレルギー科診療部長)

6月 平成30年度「定時総会」の開催

・会員総数／276名(平成30年5月16日現在)

・議決権数／171名(出席者67名、委任状提出者104名)

6月 平成30年度「乳幼児健康診査功労賞」表彰

受賞者5名(小児科医師)関口晴之、中村真紀(歯科医師)
新谷美稚子(歯科衛生士)宮城瑞枝、富山さつき

2019年

2月 子どもの生活習慣対策委員会 県民向け講演会

会場／沖縄小児保健センター 3階ホール、

2階:学ぶゾーン、遊ぶゾーン、エントランスホール

《講演》

1 基調講演「生活習慣病は胎児から始まる」

安次嶺馨(沖縄県立中部病院ハワイ大学事務所ディレクター・
沖縄県小児保健協会理事)

2 各小委員会による活動紹介、講演・催し

3月 機関誌「沖縄の小児保健第46号」の発行

「親子健康手帳」を市町村へ頒布(平成31年度版)

● 社会の動き

・沖縄県知事選で玉城デニーが当選(9.30)



子どもの生活習慣対策委員会
県民向け講演会のチラシ



子どもの生活習慣対策委員会・県民向け講演会の様子

乳幼児健康診査受診状況(令和元年3月31日現在)

単位:人

健康診査名	受診受診数		情報処理件数		計	
	一般健診	歯科健診	一般健診	歯科健診	一般健診	歯科健診
乳児	28,561	—	—	—	28,561	—
1歳6か月児	8,114	8,087	5,818	5,815	13,932	13,902
3歳児	14,559	14,498	—	—	14,559	14,498

注) 対象外児を含む。

注) 乳児期の健康診査は前期・後期の2回受診することができる。

乳幼児健康診査受託市町村の状況

健康診査名	受託市町村数	情報処理市町村数	計(%)
乳児	40	—	40(97.6)
1歳6か月児	33	6	39(95.1)
3歳児	40	—	40(97.6)

注) ()は県内41市町村に対する割合

● 沖縄県小児保健協会の動き

2019年

4月 乳幼児健康診査の精度管理の一環から精査結果の情報処理業務の受託を開始

6月 令和元年度「沖縄県小児保健学会」の開催
内容／一般演題5題・特別報告2題・特別講演1題
《特別講演》
「妊娠期から子どもを最優先にした法律 ― 成育基本法 ―」
秋山千枝子(公益社団法人日本小児保健協会会長)

6月 令和元年度「定時総会」の開催
・ 会員総数／286名(令和元年5月15日現在)
・ 議決権数／150名(出席者51名、委任状提出者99名)

6月 総会にて名誉会長、名誉会員が承認される
《名誉会長》玉那覇榮一(第7代会長)
《名誉会員》安次嶺馨、下地ヨシ子、高良聡子

6月 令和元年度「沖縄小児保健賞」表彰
《個人の部》渡邊幸(公立久米島病院 小児科医)
《団体の部》ダウン症児の親の会 たんぽぽだん

6月 令和元年度「沖縄小児保健協会功労賞」表彰
受賞者5名 玉那覇榮一、下地ヨシ子、譜久山民子、具志一男
井村弘子

6月 令和元年度「乳幼児健康診査功労賞」表彰
受賞者4名(小児科医師)島袋忠雄 (歯科医師)喜久村綾子
(臨床検査技師)平良嘉邦 (栄養士)赤嶺朋子

7月 「発達障害児支援に関する研修会」の開催
講師／平岩幹男(Rabbit Developmental Research 代表)

2020年

3月 機関誌「沖縄の小児保健第47号」の発行
「親子健康手帳」を市町村へ頒布(令和2年度版)



特別講演講師・秋山千枝子氏



「沖縄小児保健賞」を受賞したダウン症児の親の会「たんぽぽだん」の皆さん



9月に行われた、職員を対象にした消火訓練、普通救命講習

乳幼児健康診査受診状況(令和2年3月31日現在)

単位:人

健康診査名	受託受診数		情報処理件数		計	
	一般健診	歯科健診	一般健診	歯科健診	一般健診	歯科健診
乳児	25,901	—	21	—	25,922	—
1歳6か月児	7,839	7,828	5,241	5,237	13,080	13,065
3歳児	14,220	14,191	—	—	14,220	14,191

注) 対象外児を含む。

注) 乳児期の健康診査は前期・後期の2回受診することができる。

乳幼児健康診査受託市町村の状況

健康診査名	受託市町村数	情報処理市町村数	計(%)
乳児	40	—	40(97.6)
1歳6か月児	33	6	39(95.1)
3歳児	40	—	40(97.6)

注) ()は県内41市町村に対する割合

令和2年度 2020.4~2021.3

● 沖縄県小児保健協会の動き

2020年

4月 2歳児歯科検診の情報処理業務受託契約を開始する

6月 令和2年度「定時総会」の開催

- ・ 会員総数／246名(令和2年5月1日現在)
- ・ 議決権数／179名(出席者10名、委任状提出者169名)

7月 令和2年度「沖縄小児保健賞」表彰

《個人の部》 志茂ふじみ(公益社団法人沖縄県看護協会)
 《団体の部》 認定特定非営利活動法人こども医療支援わらびの会
 令和2年度「乳幼児健康診査功労賞」表彰
 受賞者7名(小児科医師)安里義秀、比屋根真彦(歯科医師)與那原エツ子(臨床検査技師)奥村千恵子(栄養士)城間恵美(歯科衛生士)島袋純子(看護師)上原由企枝
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため発送をもって対応

9月 市町村に新型コロナウイルス感染防止対策の取り組みや工夫についてアンケートを実施。アンケート結果の取りまとめ市町村に情報還元を行う。その結果を踏まえ、COVID19流行時における乳幼児健康診査に対する沖縄県小児保健協会の考え方について市町村に通知した(40市町村)

2021年

3月 機関誌「沖縄の小児保健第48号」の発行
 「親子健康手帳」を市町村へ頒布(令和3年度版)

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年度の「沖縄県小児保健学会」は中止となる



コロナ禍で行われた総会の様子



乳幼児健康診査功労賞の受賞者

● 社会の動き

- ・ 原因不明の肺炎が新種のコロナウイルスと判明。以降世界的なパンデミックとなる(1.-)
- ・ 新型コロナウイルスにより日本全国に緊急事態宣言発出(4.-)

乳幼児健康診査受診状況(令和3年3月31日現在)

単位:人

健康診査名	受託受診数		情報処理件数		計	
	一般健診	歯科健診	一般健診	歯科健診	一般健診	歯科健診
乳児	19,203	—	32	—	19,235	—
1歳6か月児	7,903	7,894	4,585	4,584	12,488	12,478
3歳児	13,305	13,275	—	—	13,305	13,275
2歳児歯科	—	—	—	1,061	—	1,061

注) 対象外児(新型コロナウイルス感染症の影響で受診月齢が遅れた児、県外児、その他)を含む。

注) 乳児期の健康診査は前期・後期の2回受診することができる。

乳幼児健康診査受託市町村の状況

健康診査名	受託市町村数	情報処理市町村数	計(%)
乳児	40	0	40(97.6)
〈内〉個別健診併用	〈8〉		
1歳6か月児	34	5	39(95.1)
3歳児	40	—	40(97.6)
2歳児歯科	—	6	6(14.6)

注) ()は県内41市町村に対する割合

令和3年度 2021.4~2022.3

● 沖縄県小児保健協会の動き

2021年

4月 「親子で歯っぴ〜プロジェクト-5歳児版-」の受託が始まる
(県委託事業R3-R7)

6月 令和3年度「定時総会」の開催

- ・ 会員総数／263名(令和3年5月14日現在)
- ・ 議決権数／144名(出席者9名、委任状提出者135名)

6月 令和3年度「乳幼児健康診査功労賞」表彰

受賞者5名(小児科医師) 安谷屋正明
(臨床検査技師) 山口和美、玉城貴子(看護師) 宇榮原ユミ子
(歯科衛生士) 砂辺律子

6月 第68回「日本小児保健協会学術集会(リアル配信期間)」開催

会頭／宮城雅也(沖縄県小児保健協会会長)
《テーマ》「大きな和で育む 子どもの未来」
会場／Web開催(配信会場 沖縄小児保健センター)
オンデマンド配信 令和3年6月16日(水)~7月8日(木)
参加者数1,091名

2022年

3月 機関誌「沖縄の小児保健第49号」の発行
「親子健康手帳」を市町村へ頒布(令和4年度版)

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和3年度の「沖縄県小児保健学会」は中止となる

● 社会の動き

- ・ 東京五輪が開幕(7.21)
- ・ 新型コロナウイルスの「オミクロン株」が流行(2.5)



「親子で歯っぴ〜プロジェクト」で配布されたグッズ



コロナ禍で行われた総会の様子



第68回日本小児保健協会学術集会のポスター

乳幼児健康診査受診状況(令和4年3月31日現在)

単位:人

健康診査名	受託受診数		情報処理件数		計	
	一般健診	歯科健診	一般健診	歯科健診	一般健診	歯科健診
乳児	17,497	—	77	—	17,574	—
1歳6か月児	8,445	8,435	3,765	3,763	12,210	12,198
3歳児	13,302	13,270	—	—	13,302	13,270
2歳児歯科	—	—	—	1,093	—	1,093

注) 対象外児(新型コロナウイルス感染症の影響で受診月齢が遅れた児、県外児、その他)を含む。

注) 乳児期の健康診査は前期・後期の2回受診することができる。

乳幼児健康診査受託市町村の状況

健康診査名	受託市町村数	情報処理市町村数	計(%)
乳児	39	1	40 (97.6)
1歳6か月児	35	4	39 (95.1)
3歳児	40	—	40 (97.6)
2歳児歯科	—	4	4 (9.8)

注) ()は県内41市町村に対する割合

令和4年度 2022.4~2023.3

● 沖縄県小児保健協会の動き

2022年

6月 令和4年度「沖縄県小児保健協会学術集会」の開催
内容／一般演題6題
《特別講演》「戦争、感染症、子どもの健康」
國井 修(公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金CEO)

6月 令和4年度「定時総会」の開催
・ 会員総数／238名(令和4年5月13日現在)
・ 議決権数／140名(出席者18名、委任状提出者122名)

6月 令和4年度「沖縄小児保健賞」表彰
《個人の部》小野寺隆(名護市屋我地診療所所長 小児科医)

6月 令和4年度「乳幼児健康診査功労賞」表彰
受賞者7名(小児科医師)翁長晃 (歯科医師)小禄真
(臨床検査技師)大城マサミ (保健師)伊禮智子
(看護師)伊東富士子 (歯科衛生士)平尾和美
(栄養士)仲島咲恵美

2023年

3月 機関誌「沖縄の小児保健第50号」の発行
「親子健康手帳」を市町村へ頒布(令和5年度版)

● 社会の動き

・ 沖縄本土復帰50周年 (5.15)



沖縄県小児保健協会学術集会の風景



乳幼児健康診査功労賞の表彰式。左から仲島咲恵美氏、伊東富士子氏、平尾和美氏

乳幼児健康診査受診状況(令和5年3月31日現在)

単位：人

健康診査名	受託受診数		情報処理件数		計	
	一般健診	歯科健診	一般健診	歯科健診	一般健診	歯科健診
乳児	21,333	—	—	—	21,333	—
1歳6か月児	10,104	10,094	2,819	2,819	12,923	12,913
3歳児	13,771	13,750	—	—	13,771	13,750
2歳児歯科	—	—	—	1,571	—	1,571

注) 対象外児(新型コロナウイルス感染症の影響で受診月齢が遅れた児、県外児、その他)を含む。

注) 乳児期の健康診査は前期・後期の2回受診することができる。

乳幼児健康診査受託市町村の状況

健康診査名	受託市町村数	情報処理市町村数	計(%)
乳児	40	0	40 (97.6)
〈内〉個別健診併用	〈6〉		
1歳6か月児	36	3	39 (95.1)
3歳児	40	—	40 (97.6)
2歳児歯科	—	5	5 (12.2)

注) ()は県内41市町村に対する割合

令和5年度 2023.4~2024.3

● 沖縄県小児保健協会の動き

2023年

4月 少子化に伴い、乳幼児健診の受託料の改定を実施

6月 令和5年度「沖縄県小児保健協会学術集会」の開催
内容／一般演題・5題 ショートレクチャー1題・特別講演1題
《特別講演》「今できる早期発見・治療の恩恵を全ての赤ちゃんに～沖縄こども先進医療協議会の目指すもの～」
中西浩一（沖縄小児科学会会長・琉球大学大学院医学研究科育成医学（小児科）講座教授）

6月 令和5年度「定時総会」の開催
・会員総数／242名（令和5年5月15日現在）
・議決権数／174名（出席者41名、委任状提出者133名）

6月 令和5年度「沖縄小児保健賞」表彰
《個人の部》田畑りえ子（沖縄県立南部医療センター・こども医療センター看護師）

6月 令和5年度「乳幼児健康診査功労賞」表彰
受賞者7名（小児科医）仲村佳久（歯科医師）上原いずみ（臨床検査技師）比嘉修（保健師）渡久地一美（栄養士）比嘉麻乃（歯科衛生士）上原美佐代（看護師）照喜名君枝

7月 「創立50周年記念式典及び祝賀会」の開催（30日）
《特別講演》「島嶼地域で考える子どもの未来～経済的可能性を求めて～」大城肇（琉球大学学長）
創立50周年記念事業の一環として
・「沖縄の母子（親子）健康手帳のあゆみ」パネルの作成
・「沖縄県小児保健協会紹介動画」の作成

2024年

3月 「親子健康手帳」を市町村へ頒布（令和6年度版）

● 社会の動き

・こども家庭庁発足／こども基本法施行（4.1）



特別講演講師・中西浩一氏



「沖縄小児保健賞」を受賞した田畑りえ子氏



「乳幼児健康診査功労賞」を受賞した仲村佳久氏

乳幼児健康診査受診状況（令和6年3月31日現在）

単位：人

健康診査名	受託受診数		情報処理件数		計	
	一般健診	歯科健診	一般健診	歯科健診	一般健診	歯科健診
乳児 集団	20,485	—	—	—	20,485	—
乳児 個別	—	—	2,785	—	2,785	—
1歳6か月児	9,982	9,979	2,682	2,682	12,664	12,661
3歳児	12,978	12,955	—	—	12,978	12,955
2歳児歯科	—	—	—	1,653	—	1,653

注）対象外児（新型コロナウイルス感染症の影響で受診月齢が遅れた児、県外児、その他）を含む。

注）乳児期の健康診査は前期・後期の2回受診することができる。

乳幼児健康診査受託市町村の状況

健康診査名	受託市町村数	情報処理市町村数	計（%）
乳児	40	0	40（97.6）
〈内〉個別健診併用	〈4〉		
1歳6か月児	37	3	40（97.6）
3歳児	40	—	40（97.6）
2歳児歯科	—	5	5（12.2）

注）（ ）は県内41市町村に対する割合

編集後記

沖縄の本土復帰翌年、1973（昭和48）年に創立された沖縄県小児保健協会の半世紀の歩みをまとめた50周年記念誌が完成しました。

協会の創立に尽力し、ここまでの発展に多大な貢献をして下さった方々を始め、現在の活動を支えご協力いただいている皆様から、これまでの50年、これからの50年の声をいただきました。復帰後の混乱の時代に沖縄のこどもたちにどう向き合ったのか、物は豊かになったが少子化や核家族化等厳しい社会環境が続く現在、我々はこどもたちにどう関わっていけば良いのか、様々な示唆に富んだお言葉を頂戴いたしました。

50周年記念事業として第68回日本小児保健協会学術集会を成功裏に開催できたことは大変嬉しく名誉なことでした。その他にも様々な企画を行いました。当協会の紹介動画の制作もその一つです。沖縄小児保健センターの愛称を募集し、「こっぽ KōPHO」に決定しました。こっぽの庭の活用をご提案いただきました。

沖縄県の長寿復活の要、子どもの生活習慣対策委員会の4つの小委員会（食育、周産期、歯科、運動・遊び）の座談会と、多職種が会して行った乳幼児健診に関する座談会は、限られた紙面の中に熱い思いが凝縮されています。

戦前から現在までの沖縄の母子（親子）健康手帳のあゆみは、たくさんの皆様のご協力で作成することが出来ました。中でも残念ながら発刊を待たずにご逝去された一番のご尽力者、食育小委員会の今西康次先生に謹んで感謝申し上げます。

創立から現在までの年表は力作で、50年のあゆみが簡潔にわかりやすくまとめられています。読み応え、見応えのある充実した記念誌に仕上がりました。是非手に取って、ゆっくりと小児保健協会の50年を味わっていただけると嬉しい限りです。

この記念誌の発行に際し、玉城デニー県知事、宮里哲県町村会会長、小枝達也日本小児保健協会会長、赤嶺昇県議会議長、桑江朝千夫県市長会会長からご祝辞を頂戴いたしました。また、長年にわたりご支援、ご指導いただいております日暮眞先生、平岩幹男先生、山縣然太郎先生からは特別寄稿をいただきました。その他玉稿をお寄せ下さった皆様に心から感謝申し上げます。

50年後、協会は胸を張って活動し、全てのこどもたちが生き生き伸び伸び生活を楽しみ、健康寿命が延び、沖縄県は長寿県に復活しているはずです。その実現に向け、皆で一丸となってこどもたちに向き合っていきましょう。皆様のなお一層のご協力をよろしくお願いいたします。

當間 隆也